

FAX 送信のご案内

発信日 6月2日(水)

本紙共 5 枚

発信先 会員各位

発信元 熊本東南ロータリークラブ
会長 松本一也
幹事 福井 学

〒860-0846
熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL 096-354-4521
FAX 096-354-4053
EMAIL serc@serc2720.org

Rotary
Club of Kumamoto
Southeast



2021年6月2日「会長の時間」および「幹事報告」

梅雨の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。

6月2日の「会長の時間」と「幹事報告」をお送りさせていただきます。



会長の時間

令和3年 6月 2日

松本 一也

脱炭素社会

私たち人類及び様々な生物が暮らしている地球は、大気という、窒素、酸素、アルゴン、二酸化炭素を含む気体（大気）で覆われています。この中の、二酸化炭素を主体とする温室効果ガスのおかげで、生物の生息できる適切な温度が保たれ、紫外線などの有害なものから守られていました。

しかし、人類が増え、産業革命など文明が発展していく過程で、それまで排出し続けてきた二酸化炭素など温室効果ガスの増加が、地球温暖化を推し進め、海面上昇・砂漠化の拡大・世界的異常気象の発生、生態系の破壊や作物の収穫量減少など、地球の自然環境を破壊するという大変な状況になっています。

そうした状況に歯止めをかけるために、全世界で実現すべき共通目標として掲げられているのが「脱炭素社会」です。脱炭素社会とは、地球温暖化の原因、二酸化炭素排出量が実質ゼロになる社会のことです。二酸化炭素排出量を実質ゼロにするとは、温室効果ガスの排出自体を抑制するだけでなく、排出された二酸化炭素を回収するなどして、差し引きで実質的にゼロを達成しようとする考え方です。

脱炭素社会の実現は全世界共通のテーマであり、2015年に採択された「パリ協定」は、全ての国・地域が参加する公平な合意であり、実現が目指されています。日本では2020年10月、菅総理大臣が所信表明演説において「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、『2050年カーボンニュートラル』の実現を目指す」と宣言しました。

では、どうすれば脱炭素社会が実現できるのでしょうか。それには、まず化石燃料を燃焼させエネルギーを得ることを辞めなければなりません。地球には外にも内側にも、膨大な自然エネルギーが存在します。そのほんの一部を使いこなすだけでも、人類に必要なエネルギーの全てを賄えます。

(1) 地球外の自然エネルギーを利用する。

太陽から地球に降り注ぐ光や熱のエネルギーのことです。太陽エネルギーは宇宙空間のあらゆる方向に放射され、遠く離れた地球に届くのは全エネルギーの22億分の1とされています。これは、1秒当たり約42兆キロカロリーで、1秒間に世界中で使っている全てのエネルギーの2万倍以上という量です。もし、この太陽エネルギーを100%変換できるなら、世界の年間エネルギー消費量をわずか45分で賄うことが出来る計算になります。

考えてみれば、化石燃料である石炭は、3億年から数千万年ほど前のシダ植物や木が地中に埋まり、地球内部の熱や圧力の影響で石炭に変化したもので、石油は、海の中に生息する海洋性プランクトンや藻類の死

骸が海底に堆積し、地球内部の熱や圧力の影響で石油に変化したものです。これのもととなる植物やプランクトンなどは、太陽の光や熱を吸収して育っています。つまり、化石燃料は太陽エネルギーが形を変えただけのものであり、我々はそれを燃やしてエネルギーとして取り出しているだけにすぎないのです。

他の惑星（月）の重力による、海の潮汐を利用して発電し、エネルギーを得る方法もあります。

（２）地球内部のエネルギーを活用する。

地球内部にも、膨大なエネルギーが存在します。地殻を地下2,000～5,000メートルまで掘り進むと、摂氏200～300度の高温帯に達します。そこに水を送り込み、水蒸気にしてタービンを回し、発電するという方法（高温岩体発電）も開発中だそうです。

このように、自然界には多くのエネルギーが存在しています。しかし、これらを利用して、世界中が必要なエネルギーを得ることは並大抵ではなく、大変な我慢、努力、困難が待ち受けています。世界中の人々が協力し合うことが必要です。

現在、安易にエネルギーが得られる、化石燃料を使った発電や、核分裂型原子力発電等に頼り切りになることなく、困難ではあるがクリーンなエネルギーを造ることに努力し、子々孫々に美しい地球を残そうではありませんか。

令和3年6月2日

■ 幹事報告 ■

幹事 福井 学

■ 来信案内

1)

硯川昭一 ガバナー、開克行 青少年奉仕部門長、中山諭扶哉 青少年奉仕ローターアクト委員長、宮ノ原直樹 地区ローターアクト代表、間崎翔一 地区ローターアクト代表エレクト、野口拓哉 熊本火の国ローターアクトクラブ会長兼第36回地区RA研修会実行委員長より、第36回地区ローターアクト研修会の案内。

開催日 2021年6月26日(土)・27日(日)

開催場所・宿泊先 阿蘇プラザホテル

登録料 2000円(RC)

※県をまたぐ移動が制限されている関係上、今回の開催方法については現地とZoomを利用した、ハイブリッド方式となります。また、今後の状況によってはZoomを利用した完全オンラインでの開催となる場合もあります。

2) 今後の行事

開催日		行事名	場所	会場	出席者
2021年	6月26日(土)	「1年の感謝の夕べ」及び引き継ぎ式	熊本県熊本市	熊本ホテルキャッスル	クラブ会長、地区委員長
	6月26日(土)・27日(日)	第36回地区ローターアクト研修会	熊本県阿蘇市	阿蘇プラザホテル	新着